



八王子盲学校だより



令和4年9月発行 第3号
東京都立八王子盲学校長 安田 咲登子

汗を流す

校長 安田 咲登子

記録的な早い梅雨明け、その後の猛暑、そして新型コロナウイルス感染症の爆発的な拡大となかなか厳しい夏でした。夏季休業中の学校では部活動や補習に頑張る生徒達の姿が見られました。暑い中、汗をかきながら登校してくる様子には頭の下がる思いでした。教職員もこの夏は「断捨離」に汗を流しました。2年後の仮校舎移転に向けて、校内外を整理しなければなりません。夏季休業中には多くの人手が必要となる大物の運搬をしました。校長室もずいぶん整理しましたが、30年以上前の自分の写真が出てきて苦笑いしました。懸案事項であった雨漏りの補修やエアコンの修理も行われました。仮校舎移転前も幼児・児童・生徒にとってはかけがえのない大切な期間です。安全に快適に過ごせるよう努力してまいります。

さて、私は犬と一緒に家の近所の川沿いの緑道を日々歩きます。そこで毎日出会うおばあさんがいます。どう見ても80歳を越えた小さな背中が、生い茂る草の隙間から見えます。鎌(かま)を自在に操り、おばあさんが手掛けた場所は魔法のようにきれいに整えられていきます。緑道は数百メートルあるので、毎日少しずつ草刈りを進めて、何日か後にはまた草が生えた元の場所に戻ってきます。繰り返し、繰り返し、季節は廻ります。冬は落ち葉を丁寧に集めて運んでいます。時には空き缶やタバコの吸い殻もあることでしょう。道行く人に腹をたてることもあるかもしれません。でも、おばあさんはいつも穏やかな笑顔です。おそらく誰に頼まれたわけでもなく、報酬や見返りがあるわけでもない、この体力的にも厳しい、気の遠くなるような作業を毎日、淡々と、誰に自慢することなく続けています。

いつか勇気をだして「どうして毎日この道をきれいにしているのですか？」と聞いてみたいと思っています。おばあさんの答えは「好きだから」「気持ちがいいから」なのではないかと私は予測しています。

自分の力を惜しみなく発揮する

副校長 能瀬 圭介

人それぞれもっている力はちがいます。そして、全力を出し切るとはとても難しいことです。どうしても人は楽をしようとします。以前、インターンシップの巡回相談に行ったときに、ある企業の方からこんなことを言われました。

「100ある力のAさんと、80ある力のBさんがいたとする。その二人に仕事を頼んでAさんは90の結果を出した。Bさんは80の結果を出した。能瀬先生、うちの会社ではBさんの方を採用します。」結果を見れば、90の力を出せたAさんの方が仕事はできたことになりませんが、その企業はBさんの方が高評価でした。

実は人はどれだけ力をもっているかということよりも、どれだけ自分の力を精一杯100%出せるかということが大切になります。そしてその癖は学生時代から付けておかなければすぐには付きません。今日から始まる2学期！全力で取り組んでみましょう。

小学部 実りの秋にむけてのスタート

主幹教諭 深澤 陽子

夏の暑い太陽を浴びて、校庭の田んぼにも青い稲穂ができ始めました。小学部の子供たちも夏休みにエネルギーをたくさん蓄えたことでしょう。2学期はいろいろな行事を通して学習や体験の幅を広げ、力を付けていく時期です。文化祭や持久走大会などの全校行事の他、小低秋の遠足、小高移動教室、散田小交流会、社会科見学、修学旅行、稲刈りなど、大小含めて毎月何かに向けての学習を進めていきます。秋に向けて自然の草木が豊かに実るように、八盲の子供たちも楽しみながら学び努力を重ねて、大きく成長してほしいと思います。

併せて新型コロナウイルス感染症防止対策においても状況の変化を見ながら、日々の教育活動が安全・安心に行えるよう工夫して取り組んでいきます。御家庭にも引き続き御協力・御支援をよろしくお願いいたします。

業務改善 学校電話のアナウンス対応について (再掲)

主幹教諭 大越 恵仁

7月号の「学校だより」にも掲載しましたが、改めてお伝えさせていただきます。

東京都では、教職員の健康管理やライフ・ワーク・バランス（生活と仕事の両立）、教育活動の充実、業務改善に向けた観点から「働き方改革」を推進しております。この取組の一環として、本校でも勤務時間外の電話対応について自動応答対応を導入することといたしました。（メッセージが流れますが録音機能はありません） 保護者の皆様には趣旨等を御理解いただき、御協力をお願いいたします。

○学校電話のアナウンス対応開始日 令和4年7月21日（木）

○学校電話のアナウンス設定時間

18時から翌日7時30分まで（週末は終日、設定されます）

また、アナウンス対応時間帯は電話の取り次ぎができません。アナウンス対応時間帯に緊急の用件が生じた場合は、下記の副校長所有携帯電話へ御連絡をお願いいたします。

○学校携帯（副校長所有） 080-4743-9180

いじめ防止 1行コラム

主幹教諭 南部 弥寿子

「情けは人の為ならず」

思いやりは巡り巡って自分に返ってくるということわざです。
先人の知恵に学び、優しい気持ちの輪をつなげていけたら
素敵ですね。



